

# 航友会だより

校長挨拶	1
平成15年度代議員会報告	2
沖縄支部だより	2
1期生同期会	3
OB会開催	3
14期生同期会	4
13号の訂正とお詫び	4
編集後記	4

発行／中日本航空専門学校航友会事務局

〒501-3924 岐阜県関市迫間字吉田洞1577-5 中日本航空専門学校内 ☎(0575)24-2521 FAX(0575)22-9816

## 航友会に思いをいじり

中日本航空専門学校

校長 浅野敏美  
(航空整備科1期生)



平成15年4月1日に校長に就任して早1年が経過しましたが、正

に「光陰矢のごとし」の感があり、あっという間の1年でした。

特に、平成15年度は整備士制度改正による、新たな2等航空整備士航空従事者養成施設の指定を得るために大変多忙な年でもありました。

お陰で2等航空整備士航空従事者養成施設の指定も認可され、これにより2等航空整備士・2等航空運航整備士それぞれで飛行機・回転翼の4種類の資格が在学中に取得できる、全国唯一の航空専門学校となりました。

しかも、2等航空整備士・2等航空運航整備士も全員が合格という素晴らしい結果を出すことができ、まさに日本一の実力を証明した快挙であると言えます。

正直、これは凄い事だと思えます。

また、これと併行して、募集活動は18歳人口減少期にもかかわらず、例年になく好調な結果を呈することができ、2・3月の入学試験を中止せざるを得ない状況となりました。

また、就職活動も、厳しい環境下の中、順調に進み最終的には95%と高水準を維持することができました。

このように、校長に就任して、月日の経つのも忘れたそんな忙しい1年であったのと同時に大変満足のできる1年でもありました。

しかしながら、改めて校長就任の1年を経て、これからの中日本航空専門学校を考えますと、前途多難の感を拭きません。

現在、本校の母体であります神野学園は、今後益々厳しくなる時代の潮流に向けて学校改革を行うための準備を着々と進め、人事制度・教育の改革と新たな展開を始めております。

その中の一つとして、航友会活動の活性化を学校として、また、学園とし

て取り組まねばならないと考えております。

既に本校の卒業生も8000名を数えるに及び、航空業界は勿論、幅広い工業界で、それなりの地位や発言力を有する存在として活躍されている方も多数みえると思えます。

私も、本校卒業生の立場からも一層の航友会活動に期待するものであります。

因みに、平成15年度より在校生に卒業生のOB講演会を毎年実施することにいたしました。

第1回として昭和51年卒の航空整備科5期生の高嶋祥悦君にお願いいたしました。

が、その後、彼は交通事故により他界され、大変なショックを受けました。

彼にとっては、在校生への「遺言」となってしまう講演内容が、在校生には大きな財産となつて、いつまでも心に残ることと思えます。

在校生・卒業生ともに、中日本航空専門学校同窓生という絆は、何事にも変えがたい無形の大きな力を有していると思えます。

その力を、これから多岐に引き出し中日本航空専門学校航友会、並びに中日本航空専門学校の益々の発展に是非とも皆様のご尽力を賜りたいと存じます。

# 平成15年度代議員会報告

平成15年5月10日(土)、愛知県大山市の「犬山国際観光センター」にて代議員会が開催されました。

当日は、22名の代議員中20名が出席し、新年度に向けての話し合いが行なわれました。

●平成13・14年度事業・会計報告  
平成13年度は、年度の区切りを変更する為1年半(14年度を含む)の期間でした。

今期も名簿の作成、会報の発行や支部・同好会の活動に対する支援など、例年どおりの活動が行なわれたことが報告されました。



## 平成13・14年度会計決算報告書

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰り越し金	11,857,253	同期生名簿作成費	171,225
会費 (349名)	1,745,000	会報作成費 (フィルム、他)	8,006
名簿売上 (4名)	14,000	支部等援助費 (沖縄支部、ラグビーOB)	523,560
預金利息	4,023	会議費 (定例役員会、代議員会)	192,117
		事業運営費 (監査依頼、慰労会補助等)	442,579
		卒業記念品費 (H13-14年度卒業生)	584,472
		講習費 (役員会、代議員会郵送代)	1,170
		雑費 (フィルム、他)	1,108
		予備費	0
		小計	1,524,237
		次年度繰り越し金	11,696,039
合計	13,620,276	合計	13,620,276

●平成15年度事業・予算計画  
例年の事業の他に、新たな支部設立に向けての話が紹介されました。

以前から少しずつ形となってきた「関西」における同窓生の集まりです。

今年度は、大間啓由氏(整備科1期生・現阪急航空)を中心として、支部設立に向けて、定期的な活動が行なわれる予定です。

同窓会としても、出来る限りの支援をして行くことが確認されました。また、「地元名古屋にも支部が出来ないか?」との意見も出されました。

検討の結果、まず手始めに世話人を見つけて、取りまどめを依頼することとなりました。

2005年(約1年後)には、中部新空港が開港し、卒業生も大量に移動することが予測されます。

移動前に同窓会を開催するための下準備を、今年度内に行なうことになりました。

●平成15年度・役員・事務局内人事

名誉顧問 浅野 敏美(副会長)  
副会長 山田 登(幹事)

※事務局内人事

・事務局

長 梶田 和彦  
副 浅井 隆司

・事業  
長 浅野 敏美 山田 登  
副 河合 直仁

副 遠藤 英之  
安藤 弘治 寺澤 昌樹  
須崎 貴史 東海林史朗  
岩本 吉則

・会計  
長 風岡 輝徳  
吉森 文夫

・会報  
長 高岡 雅彦  
副 石原 鉄郎

・名簿  
長 杉原 秀則  
副 明石 健一

副 鈴木由紀子 菊谷 茂

副 鈴木 淳 中村 寿志

沖縄支部  
だより

沖縄支部長

## 通事政章

活動状況として、平成15年度から支部長を交代し、前任の宮城善勝(整備科14期生・現JTA)から通事政章(制御科2期生・現会社役員)に心機一転し、航空関係者中心のメンバーか



科2期生・現国立沖縄病院)が就任。  
 沖繩は、IT関連・医療関係・公務員・基地関係・卸・小売業等、学校で学んだ以外の職に就いているのが現状です。

これからは、沖縄支部の活性化を推進する上で、業種を問わず、航友会の発展・交流・親睦を深めるため、役員一同頑張っていきたいと思っております。

平成16年度に向けて、役員改選を4月に、定例親睦会(ビーチパーティー)を9月に、異業種交流会を11月になど、多くの行事を予定しております。

今後、できるだけ数多くの会員が参加できる企画を行いたいと思っております。

高、沖縄支部活動に関するお問い合わせは、通事(とうじ) Tel (090-3197-7751)までお願いいたします。

**お悔み**

○高嶋 祥悦氏(整備科5期生)

2月26日深夜にロサンゼルスにおいて、豪雨の中を運転中にスリップして中央分離帯の松に激突され、2日後にお亡くなりになりました。

高嶋氏は、本校卒業後国内で就職されましたが、数年後に渡米され、その後Star Light AirService Corporation という輸出入関係の会社を設立されました。

10年前からは、本校で必要とするアメリカからの輸入品の手配について便宜を図っていただきました。



**1期生 同期会**

平成15年11月8日に、大山市の国際観光センター地下のレストラン「グラント」において、上村同窓会会長の呼びかけにより、1期生同期会&浅野校長 就任パーティーが行なわれました。

会には、1期生を始めとして、浅野校長の就任を祝うため、多くの同窓生が集まりました。

会も中程を過ぎると、大いに盛り上がり、参加者一人一人から浅野校長へのお祝いの言葉が述べられました。

1期生の方からは、はるか30数年前の学生時代の懐かしい話や、暴露(?)話などが飛び出し、時の経つのも忘れて、語らいが続きました。

最後に、浅野校長からお礼の言葉と航友会に対する言葉の言葉をいただき、記念撮影後、散会となりました。



中日本航空専門学校 校長就任祝賀会

**O B 会 開催**



平成15年11月15日に、石川島播磨重工株式会社航空宇宙事業本部 瑞穂工場に勤務する卒業生でOB会を開催しました。

最近、不景気の為「新入社員歓迎会」として開催できないのが寂しいです。

また、幹事が持ち回りではなく、一番若手がやる事に決まっていますので、新入社員が入るまで永遠に幹事なので早期に卒業生の入社を望む今日この頃です。

今回は、いつもより少ないのですが15名の卒業生が集まり、大盛況の中、来年も開催する事を約束して、閉会しました。

野田 竜也(整備科25期生)  
 玉田 洋輔(整備科29期生)

## 14期生 同期会

平成15年9月6日～7日にかけて、大阪府池田市の「ホテル不死王閣」において、航空整備科14期生の同期会を20名の参加のもと実施しました。

この同期会は、今回で6回目となり早いもので我々が卒業して、早・18年の月日が経ち、参会者も年々増えてきました。

中には、18年ぶりに再会したメンバーもいて、再会の「感動・感激」もひとしおでした。

振り返ると、我が14期生同期会の第一回目の開催は、16年前にバイク事故でこの世を去った、同期の「北川 俊裕くん」の冥福を祈ってやろうと集まった事がきっかけでした。

それ故に結束力・団結力も強く、南は「沖繩」から、北は「千葉」まで、全国各地から駆けつけてくれるメンバーばかりです。

又、今回の同期会では、訳あって卒業できなかったメンバーもいましたが、そんな事は関係なく、文字通り「共に同じ釜の飯を食った仲」の14期生として再会を共に喜び合い、昔話に大いに華が咲きました。

やはり皆、寮生活だった事と、同じ



目的・趣味を持った者の集まりだった事があいまって、こんなに素晴らしいメンバーに巡り合う事ができ、中日本航空は「やっぱり最高にいい学校だったなあ!」と実感する今日この頃です。

今後も、同期等を問わず、又、未だ再会を果たしていない懐かしいメンバーを、互いのネットで探しつつ、第7回、第8回と益々メンバーを増員しながら定期的に開催する事を共に約束し、本会を終焉しました。

## 《13号の訂正とお詫び》

13号で、ご案内いたしました同窓会ホームページへのアクセスに関して、同窓生の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

当ホームページは、本校同窓会が名簿の管理及び航友会だよりの発行を委託している、株式会社提供しているものです。

このホームページへのアクセスは、この航友会だより14号をお送りした封筒あて名ラベルに記載の18ケタのIDナンバーをご利用下さい。

ホームページ上では、同窓生本人のお名前・住所の変更が直接行なえません。

なお、住所不明者に対する情報提供もできません。

これらの情報は、個人情報保護の観点から同窓会内でも慎重に検討した結果、今回のような手法を取らせていただきました。(個人情報公開していません。)

又、同窓会情報も、今後提供したいと考えております。

<http://www.e-dousonkaikan.com/koyukai@cnac.jp>

## 編集後記

「航友会だより 第14号」の発行を終えて、やっと一息ついております。この号から、記事の中にもありましたように、事務局内の人事移動が多数あり、発行が例年に比べて遅れましたこととお詫びいたします。

次号からは、内容の見直しを含め、同窓生の方々からのご意見等を含めながら、より一層会員の皆様のご要望にお答えできるような誌面作りをしていきたいと考えております。

ご意見・ご質問等がありましたら、前述のメールアドレスまで、お気軽にお寄せください。

また、同窓会では、同期会やOB会に対して、支援を行なっております。

詳しい内容をお知りになりたい方も前述のメールアドレスまで、お気軽にご質問下さい。

次号は、学校近況報告特大号(っ)を作製する予定です。

